

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほたるの里

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 03 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取組み	会議に行政職員や民生委員、家族等が参加しているので、会議の内容や議題を検討し、参加した方にとっても、有意義な会議になるように取り組んでいく。	会議の中で、認知症や成年後見、介護食の試食会等、参加者にとっても知識を学ぶ場として、有意義な会議になるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策対策	管理者が、地元消防団に加入しているので、防災設備会社の定期点検に合わせ、年2回避難誘導訓練を実施しているが、訓練を職員全員が、真剣に取り組む、いざという時に、利用者全員を安全に避難誘導できるように取り組んでいく。	地域住民や近所に住む職員の協力を得て、非常災害時に駆けつけてもらう協力体制を整え、非常時に利用者が食べられる非常食や飲料水、医療や薬の情報を整理し、非常用持ち出し袋に用意しておく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。